



6年生のみなさん、さらなる活躍を！

あと2週間ちょっとで6年生7名とお別れになります。この1年間、色々な行事で下級生を引っ張ってくれました。行事を終えるたびに、少しずつ成長していく姿（表情にも表れますね）は、自分のことのようにうれしく思います。

下の詩は、僕の大好きな1つです。

「述懐」 頼山陽（らいさんよう）

十有三春秋（じゅうゆうさんしゅんじゅう）
 逝者已如水（ゆくものはすでにみずのごとし）
 天地無始終（てんちしじゅうなし）
 人生有生死（じんせいせいしあり）
 安得類古人（いづくにかこじんるいして）
 千載列青史（せんざいせいしにれっするをえん）

意 訳

自分が生まれてから、すでに13回の春と秋を過ごしてきた。
 水の流れ同様、時の流れは元へは戻らない。天地には始めも終わりもないが、人間は生まれてから必ず死ぬときが来る。
 なんとしてでも昔の偉人のように、千年後の歴史に名をつらねたいものだ。

この意識にもあるとおり、頼山陽が14歳で作った詩です。すごい！としか言いようがないです。14歳で、「天地無始終 人生有生死」の言葉ができることが羨ましく思います。

6年生の皆さんが、中学校2年生の時、自分の人生を振り返って、千年後の歴史に名をつらねたいと思いを述べる（述懐）ような中学生になってほしいです。これを書きながら、大谷翔平選手の曼荼羅チャートが思い浮かんできました。

これからの、中学校3年間、高等学校3年間は、幾度となく転機が訪れます。恐れることなく、周りの仲間を頼って、進んでほしいです。がんばれ！6年生！そして、卒業おめでとうございます。

菜の花畑に迷路

2月27日（火）10時過ぎだったでしょうか、場所は校長室、PTA 監査に来られた大崎さん、川越さん。何気ない話の中で、運動場西側の菜の花の話になりました。学校の敷地内に、こんなに素晴らしい菜の花が咲き乱れている学校はないという話から、迷路をつくったら子どもたちは喜ぶよね～という話になりました。

その5日後、大崎さん、川越さんによって、菜の花畑に迷路が完成しました。早速、月曜日子どもたち・園児たちは大喜びで畑の中を走り回っていました。ありがとうございました。



3月の行事予定

- 4日（月） みどりの少年団解団式
- 8日（金） 参観日 学校運営協議会
学習発表会
学級懇談・PTA 総会
- 13日（水） 卒業式予行
- 20日（水） 祝日 春分の日
- 22日（金） 卒業式準備
- 25日（月） 卒業式
- 26日（火） 修了式

今年度ご支援・ご理解ありがとうございました。

早いもので、令和5年度の茶臼原小が終わろうとしています。「自立」を子どもたちに育てるために、子どもたちには、「ねえ～、教えて」と周りの友だちを頼ることを、先生方には、「子どもをまるごと受け止めて、どうしたの？どうしたいの？〇〇なら手伝えるけど」をそれぞれお願いしてきました。

子ども、教師が、それぞれ「学び」を身に付けてきました。昔ながらの教育ではない、本当の「令和の教育」を創りあげる土台ができた令和5年度でした。